



S - ステージ

ボアアップキット(80cc)取扱説明書

(カムシャフトレス)

商品番号：01-05-5083

適応車種 フレーム番号

Ape : AC16-1000001 ~

CB50J : CB50J-1000011 ~ 1127783

CB50SA : AC02-1000007 ~ 1016876

CB50SB : AC02-1100006 ~ 1107894

XRMモータード : HD14-1000001 ~

・このたびは、TAKEGAWA商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。

・取り付け前には、必ずキットをお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

イラスト、写真などの記載内容が本パートと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

！使用燃料についてのご注意！

このキットはノーマルに比べ、高圧縮比となるよう設定しております。燃料は必ずハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。レギュラーガソリンを使用された場合、異常燃焼を起こし、本来の性能を発揮しない上にピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。キット取り付け前に燃料タンクに残っているガソリンにもご注意下さい。レギュラーガソリンが残っている場合は必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

！スパークプラグについてのご注意！

スパークプラグは必ず、CR8HSA(NGK)または、U24FSR-U(DENSO)に交換して下さい。その後、スパークプラグ電極部の焼け具合により番数を決定して下さい。

！スプロケットについてのご注意！

このキットを取り付けると出力がアップします。ノーマルのスプロケットのままではローギアすぎて各部の磨耗が激しくなり、エンジン寿命に悪影響を及ぼすだけでなく最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。スプロケットのハイギア化を行って下さい。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。

このキットを取り付け、原付免許、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となり、運転者ご本人が罰せられる対象となります。一般公道を走行される場合は、小型2輪以上の免許を取得し、必ず市町村の役所で原付2種の登録を行い、強制賠償保険の排気量アップの申請を行って下さい。

このキットを取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。

商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

このキットは、上記適応車種、フレーム番号の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。

このキットの取り付けには、エンジン脱着等の作業が必要になります。上記適応車種にあったホンダ純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行うことをお勧めします。

取り付けの際には、別紙記述の工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としてあります。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。

Ape(キャブ)及びXRMモータードは、このキット単体では性能を発揮しません。別売りのキャブレターキットをお買い求め下さい。

PC20キャブレターキット：03-05-317、03-05-318(フィルター付き)

Ape(FI)はこのキット単体では性能を発揮出来ません。別売りのFIコントローラーをお買い求め下さい。

FIコントローラー：03-05-0014

さらなるパワーアップには、当社製マフラーをお勧めします。

CB50にこのキットを取り付け、エキゾーストマフラーが変更されている場合はセッティングの見直しが必要な場合があります。

ボルト、ナット、ノックピン、パッキンの一部は再使用しますが、摩耗や損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。

液体パッキン等は絶対に使用しないで下さい。オイル通路を防ぐ等の可能性があり、最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。

この製品を取り付けるには、別途、L.クランクケースカバーガスケット(ホンダ品番 11394-KN4-750)が必要です。別途お買い求め下さい。

△注意 下記事柄を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

・一般公道では、法定速度を守り違法運転を心掛けて下さい。

(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)

・作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行って下さい。(火傷の原因となります。)

・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)

・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)

・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。(ケガの原因となります。)

・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。

(部品の脱落の原因となります。)

・ガスケット、パッキン類はよく点検し、摩耗や損傷がある場合は必ず新品部品と交換して下さい。

△警告 下記事柄を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

・エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)

・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)

・作業を行う際は、水平な場所で車両を確実に安定させ、安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)

・点検、整備は、取扱説明書又は、サービススマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。

(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)

・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。

(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

ネジについて

普通、ボルトとナットは反時計方向に回すと緩み、時計方向に回すと締まります。

ネジを締める場合は最初から工具を使用せず、まずは指で締まるところまで締めましょう。

ネジを緩めるということは、締まっている状態から3~4回転反時計方向に回すことをいい、取り外すということはネジが取れるまで反時計方向に回すことをいいいます。

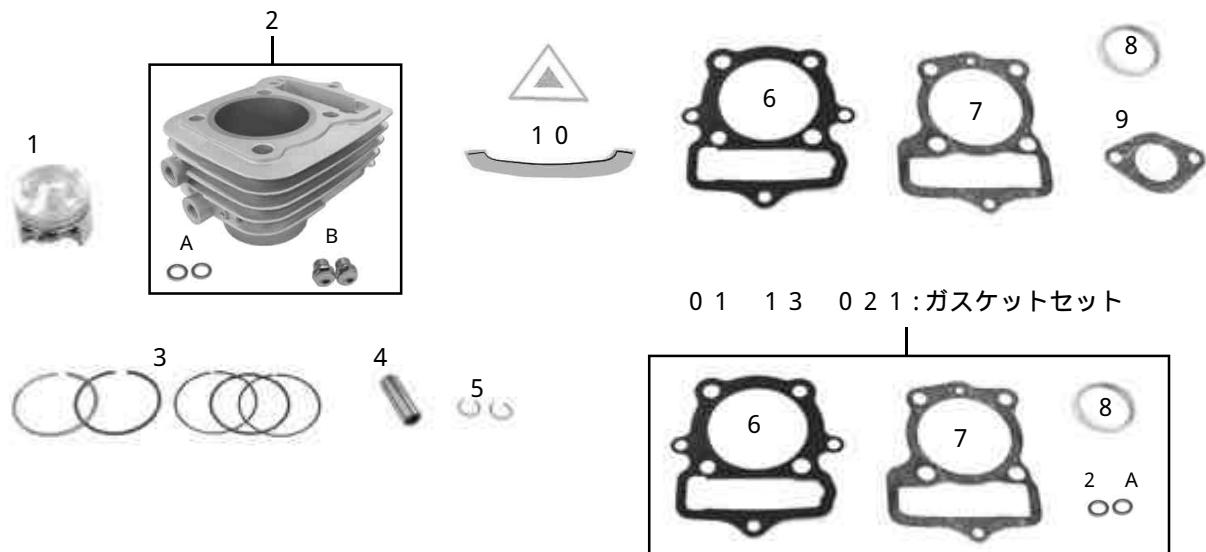
ネジを締めるということは、ネジを緩まないように締めることをいいます。その目安をボルトごとに、折れない・緩まない数値で表したのが規定トルクです。

トルクレンチを用意することが出来ない方は折れない・緩まない力でネジを締められるのであれば試して下さい。但し、当社では責任を負いません。

トルクレンチが無くてもどのぐらいの力で締めると折れるのか、緩むのかは経験と勘でしか補えません。

工具を正しく使用しない場合、ボルト・ナット等のかかり部分が破損する場合があります。

~商品内容~



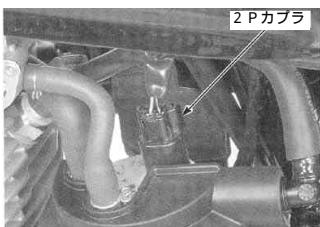
番号	部品名	個数	リペア品番	入数
1	ピストン	1	13104 149 T00	1
2	シリンダーASSY	1	01 01 041	1
2 A	アルミシーリングワッシャ	2	09 071 015	10
2 B	オイルプラグボルト	2	000 13 020	1
3	ピストンリングセット	1	13011 GBG T00	1
4	ピストンピン	1	13112 165 T01	1
5	ピストンピンサークリップ	2	000 02 120	6
6	シリンダーヘッドガスケット	1	12251 GEY T00	1
7	シリンダーベースガスケット	1	000 13 062	2
8	エキゾーストパイプガスケット	1	000 13 058	2
9	インレットパイプガスケット	1	000 13 066	4
10	原付2種マークセット	1	-----	---

リペアパーツはリペア品番にてご発注下さい。尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品にてご注文下さいます様お願い致します。

~取り付け要領~

Ape (F1) の場合

メインスイッチをOFFにし、フューエルポンプユニット2P(黒)カブラの接続を外します。



メインスイッチをONにしてキックスターでエンジンを5回以上クラシングしてフューエルホース内の燃圧を抜きます。
メインスイッチをOFFにします。

Ape (キャブ) CB50、 XRモタードの場合

フューエルコックをOFFにします。



サイドスタンドを取り外す必要がありますので、レーシングスタンド等を用いて車両を確実に支えて下さい。
CB50はノーマルマフラーを取り外さなければ、レーシングスタンドを使用出来ません。まず、サイドスタンドで車両を支え、“エギゾーストマフラーの取り外し”を参考にして取り外して下さい。
作業は必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行って下さい。
各パーツはホコリやオイルなどの汚れを取り除いてきれいにしながら取り外していくようにして下さい。
取り外したboltやナットは無くさないように保管して下さい。
チューブクリップをずらし、フューエルチューブの接続を外します。

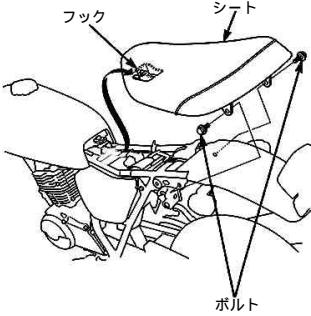


エンジンの取り外し

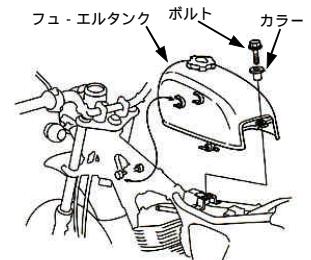
シートとタンクの取り外し

Ape (キャブ) の場合

2本のボルトを取り外します。シートを後方に引いて外します。

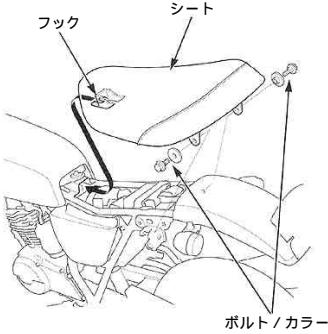


ボルトを取り外し、フューエルタンクを後方に引いて取り外します。



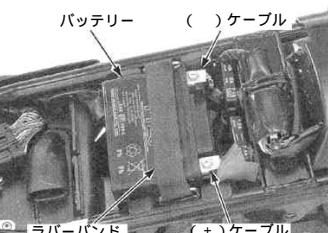
Ape (F1) の場合

2本のボルト及びカラーを取り外しシートを外します。

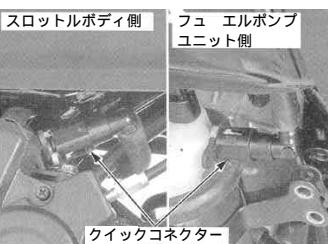


クイックコネクタ の取り外し方法

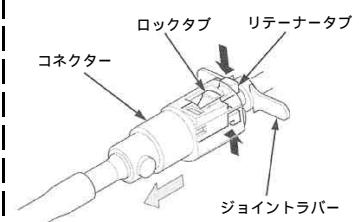
1. バッテリーよりケーブルを取り外します。



2. クイックコネクター周辺をエアブロー等で清掃しコネクター周辺をウエスで被います。



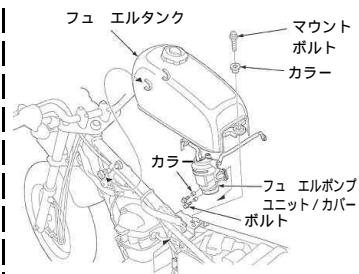
3. リテナータブを押し込んでロックタブをコネクターから外し、コネクターを引き抜きます。



4. 取り外したコネクターはゴミやほこりの浸入を防ぐため、ビニール等で被います。

上記を参考にしてスロットルボディ側のクイックコネクターを取り外します。

マウントボルト、カラー及びボルト、カラー2つを取り外しタンクを取り外します。



X R 50 モタード

L / R サイドカバーのフランジボルトを取り外し、L / R サイドカバーを取り外します。



キャブレター（スロットルボディ）の取り外し

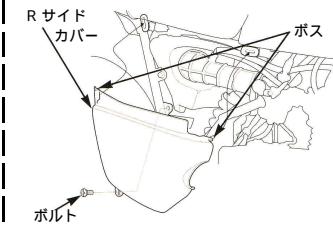
Ape (キャブ) CB50、 XRモタードの場合

キャブレターのトップキャップを外し、スロットルバルブをキャブレターから抜き取ります。

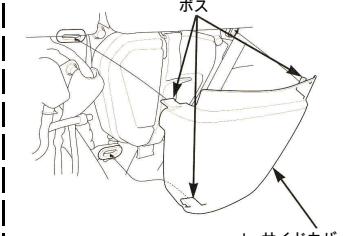


サイドカバーの取り外し

R. サイドカバーのボルトを取り外します。
ボス2ヶ所をフレームから外すと、サイドカバーが外れます。



L. サイドカバーのボス3ヶ所をフレームから外すと、サイドカバーが外れます。



コネクティングチューブバンドのスクリューを緩めます。



ボルト2本を取り外し、シリンダーヘッドからマニホールドとキャブレターを取り外します。



Ape (F1) の場合

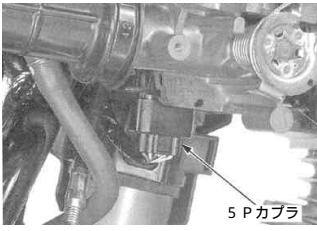
スクリューを外し、スロットルドラムカバーを取り外します。



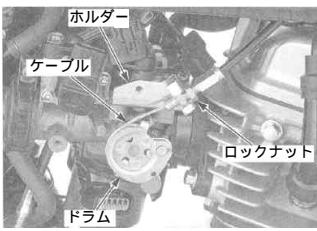
I A C パルプ 4 P(黒)カブラ、インジェクタ
2 P(黒)カブラの接続を外します。



センサユニット 5 P(黒)カブラの接続を外します。



ロックナットを緩め、スロットルケーブルを
ケーブルホルダーとスロットルドラムから取
り外します。



コネクティングチューブバンドスクリュー、
及びインシュレーターバンドスクリューを緩
め、スロットルボディを取り外します。



スロットルボディからスロットルケーブルを
取り外した後、スロットルバルブを全閉から
全閉にスナップしないで下さい。

作動不良の原因となる為スロットルボディを
落とす等、強い衝撃を与えないで下さい。

エキゾーストマフラーの取り 外し

シリンダーヘッド側のナット2個を取り外しま
す。

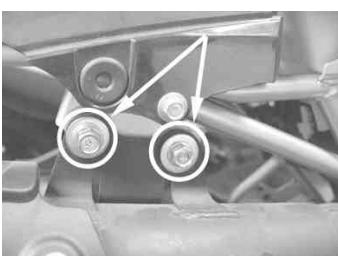


A p e
マウントボルトとワッシャを取り外し、エキ
ゾーストマフラーを取り外します。



X R 50 モタード

フランジボルト2本を取り外し、エキゾースト
マフラーを取り外します。



C B 50

ボルトを取り外し、キックペダルを取り外します。



ロックナットとワッシャを取り外し、エキゾース
トマフラーを取り外します。



エキゾーストパイプを、ステップとエンジンの間
から抜き取ります。



スパークプラグの取り外し

プラグキャップを引っ張り、取り外します。
必ずキャップ部分を引っ張って外して下さい。



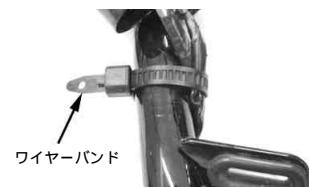
接続を外す

A p e (キャブ) の場合

配線の接続を外します。



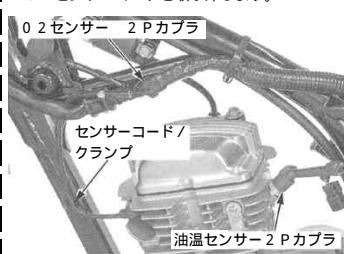
ワイヤーバンドを外します。



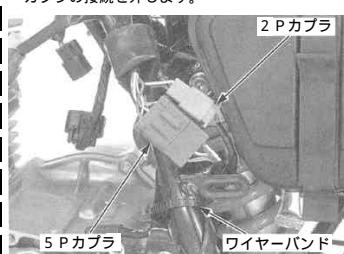
センサーカブラの取り外し

A p e (F I) の場合

油温センサー 2 P(茶)カブラ、0 2 センサー
2 P(黒)カブラの接続を外し、クランプから
0 2 センサーコードを取り外します。



ワイヤーバンドを外し、サイドスタンドスイッチ
2 P(緑)カブラと AC ジェネレータ 5 P(茶)
カブラの接続を外します。



クラッチケーブルガイドのナットを緩め、
リフターレバーからクラッチケーブルの接続
を外します。



ケーブルガイドからクラッチケーブルを外します。



ドライブスプロケットの取り 外し

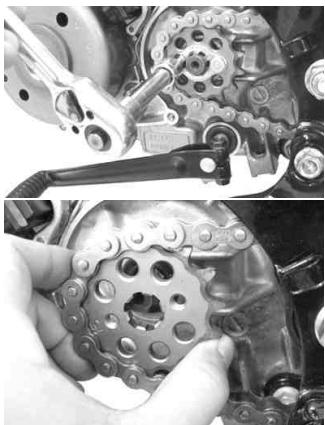
L クランクケースカバーのボルト5本を外
し、L クランクケースカバーを取り外します。



ガスケットがきれいに剥れず残った場合は、
スクレーパーやカッターナイフ等で取り除い
て下さい。



ドライブスプロケットの2本のボルトを外し、
フィギシングプレートとドライブスプロケットを取り外します。



リアエンジンマウントの上側のナットを取り外します。



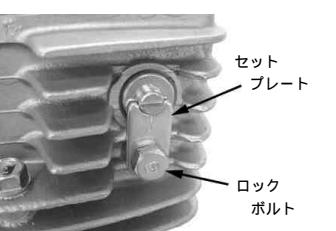
下側のナットを取り外します。



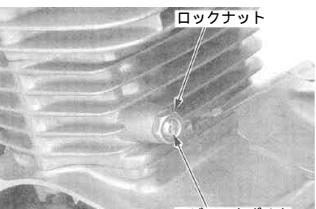
フライホイールを固定し、カムスプロケットの6角ボルト2本を緩めておきます。



ロックボルトとセットプレートを取り外し、アジャスターを取り外します。



シリンダー後部にあるアジャストボルト、
ロックナットを緩めます。



ロックナット

アジャストボルト

シリンダーヘッドマウントボルトを取り外します。



L .ステップの取り外し

A p e の場合

サイドスタンドスイッチコードをフレームから取り外します。



ボルト2本を取り外し、Lステップを取り外します。



まず、上側のボルトを抜き取り、カラー(A p eの場合)とクラッチケーブルガイドを取り外します。



セットプレート

ロックボルト



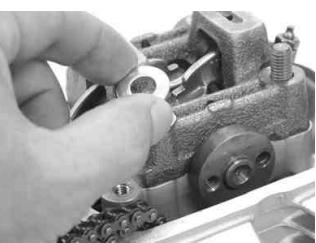
カムスプロケットの6角ボルト2本を取り外します。



カムシャフトホルダーナット4個を対角に数回に分けて緩めてワッシャ4個、カムシャフトホルダー、カムシャフト、ブッシュ(A p e, F I)ノックピンを取り外します。



カムスプロケットをカムシャフトから外し、カムチェーンから外します。



エンジンの取り外し

エンジン下部にジャキや適当な台等を置き、
エンジンを支えます。



フロントエンジンハンガーのナット4個を取り外し、ボルト4本を抜き取ってフロントエンジンハンガーを取り外します。



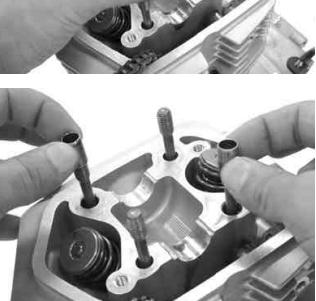
シリンドーヘッド、シリンドー、ピストンの取り外し

シリンドーヘッドの取り外し

シリンドーヘッドカバーボルト2本を外し、シリンドーヘッドカバーとガスケットを取り外します。



カムチェーンをクランクケース内に落とさないように針金等で吊っておきます。



シリンダーヘッドを取り外します。



ノックピン2個は、再使用するので取り外しておきます。

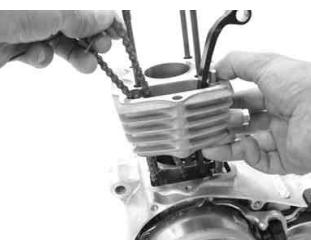
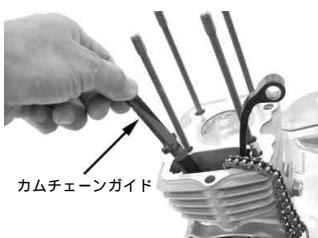


シリンダーヘッドのマニホールド取り付け面のガスケットカスをスクラーバーやカッターナイフ等できれいに取り除きます。



シリンダーの取り外し

カムチェーンガイドを取り外し、シリンダを抜き取ります。(かたい時はプラスチックハンマーでシリンダを軽くたたき、取り外します。)



ノックピン2個は、再使用するので取り外しておきます。



ロックナットとアジャストボルトをシリンダーから取り外します。



サークリップを取り外した方へドライバー等でピストンピンを押して外します。



ピストンが外れます。



スプリングを外し、カムチェーンテンシナーをシリンダーから取り外します。



ガスケットカスをスクラーバーやカッターナイフ等できれいに取り除きます。取り付け面にキズを付けないように注意してください。



クランクケースのシリンダーホールとカムチェーンホールにゴミや部品が入らないようにウエスを詰め込みます。



ウエスできれいに拭き取ります。



ピストンの取り外し

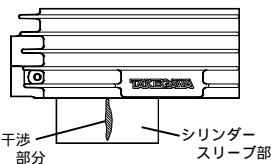
ピストンピンサークリップの片側を取り外します。

ピストンピン穴の切り欠き部を利用してこじるようにすると外れます。



クランクケースの修正

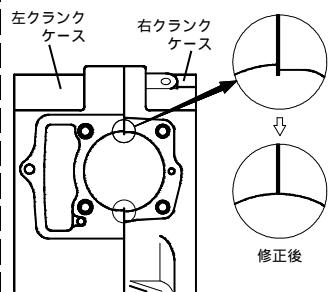
シリンダーをクランクケースに取り付ける際、左右クランクケースのズレ等により、シリンダースリーブ部とクランクケーススリーブホール部が干渉する場合があります。干渉した状態で使用するとスリーブが変形し、エンジントラブルの原因となりますので必ず点検、修正して下さい。



クランクケース内に削り粉が入らないようにしっかりとウエスを詰めます。

左右クランクケースのズレの出っ張っている部分を削り、引っ込んでいる部分と同じ高さにします。

削り終わったら削り粉がクランクケース内に入らないように慎重にウエスを取り除きます。



きれいなウエスをスリーブホールに詰めておきます。

キットを取り付けた後にエンジンをアイドリングで数分かけ、すぐにエンジンオイルを新品に交換して下さい。

S - ステージキットの取り付け

ピストンの取り付け

ピストンピン穴の片側に付属のピストンピンサークリップを取り付けます。

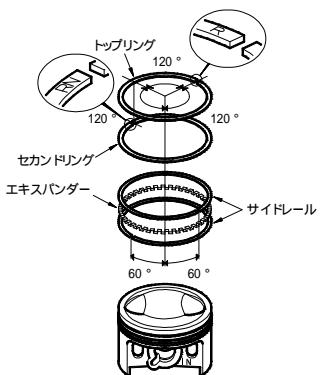
ピストンピンサークリップの合い口は切り欠き部を避けて取り付けて下さい。

ドライバーで、ピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付けることが出来ます。

押し込み中にピストンピンサークリップが外れて飛んでしまう恐れがあるので、慎重に取り付けて下さい。



図を参考にしてピストンリングを取り付けます。



オイルリングエキスパンダーを入れます。



下オイルリングサイドレールを入れます。



上オイルリングサイドレールを入れます。



“RN”の文字を上にして、セカンドリングを入れます。



“R”の文字を上にして、トップリングを入れます。



ピストンピン穴にエンジンオイルを塗布します。



コンロッドのピストンピン穴にエンジンオイルを塗布します。



ピストンピンにエンジンオイルを塗布し、ピストンの上面の矢印が、前(排気側)を向くようにピストンを取り付けます。



付属のピストンピンサークリップを取り付けます。
ピストンピンサークリップの合い口は切り欠き部を避けて取り付けて下さい。

ドライバーで、ピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付けることが出来ます。

押し込み中にピストンピンサークリップが外れて飛んでしまう恐れがあるので、慎重に取り付けて下さい。

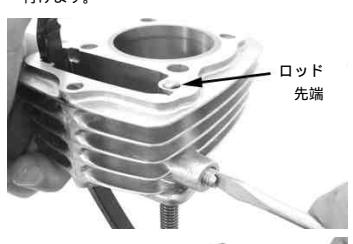


シリンダーの取り付け

カムチェーンテンションナーをキットのシリンダーに差し込み、スプリングのフックをシリンダーに引っ掛けます。



カムチェーンテンションナーのロッド先端を取り付け面と同じぐらいの位置にします。
アジャストボルトで固定し、ロックナットを締め付けます。



ノックピン2個とシリンダーガスケットをクランクケースに取り付けます。



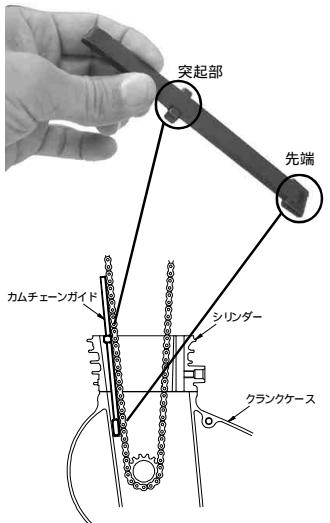
シリンダーの内側にエンジンオイルを塗布し、指で均等に塗り広げます。



ピストンの全周面と、ピストンリングにエンジンオイルを塗布します。



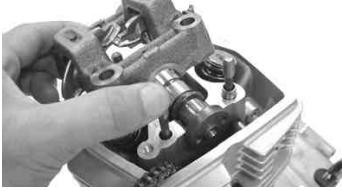
カムチェーンガイドの先端をクランクケースの溝に、突起部をシリンダーの溝に合わせるようにして差し込みます。



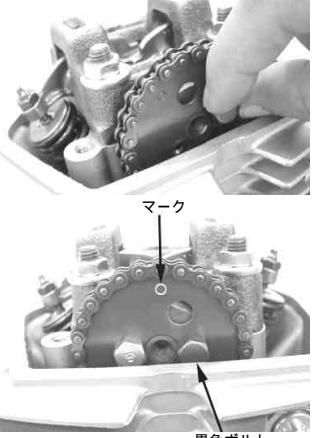
アジャスターをカムチェーンテンションナーとシリンダーヘッドに通して取り付けます。



カムシャフトホルダーを取り付けます。



カムシャフトのボルト穴をカムスプロケットに合わせて6角ボルト2本を手で締め込み、仮り止めします。このとき、ノックボルト(黒色ボルト)をインテーク側に取り付けて下さい。
Ape FIの場合、ボルトに区別はありません。



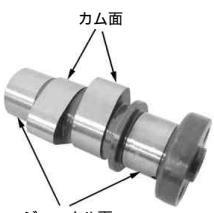
シリンダーヘッドの取り付け

シリンダーアンドシリンダーヘッドの合せ面をシンナー等で脱脂します。

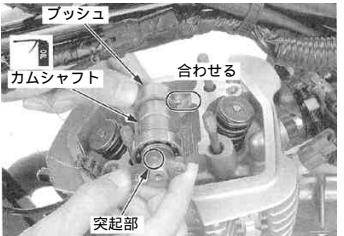


カムシャフトとカムスプロケットの取り付け

カムシャフトのジャーナル面とカム面にエンジンオイルを塗布し、シリンダーヘッドに取り付けます。カムシャフトのカム山は下側に向けておきます。



Ape FIの場合は下の写真を参考に取り付けて下さい。



ノックピン2個とシリンダーヘッドガスケットをシリンダーに取り付けます。

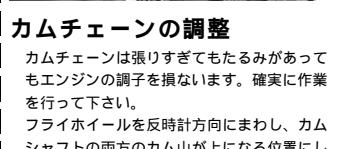


カムチェーンをシリンダーヘッドに通し、シリンダーヘッドを取り付けます。



仮止めしていたシリンダーヘッドマウントボルトを本締めします。

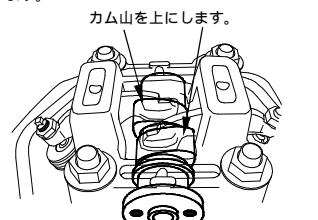
規定トルク 12 N・m (1.2 kgf・m)



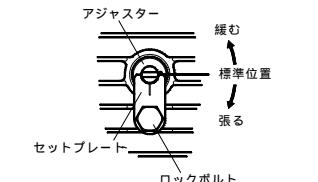
カムチェーンの調整

カムチェーンは張りすぎてもたるみがあるってもエンジンの調子を損ないます。確実に作業を行って下さい。

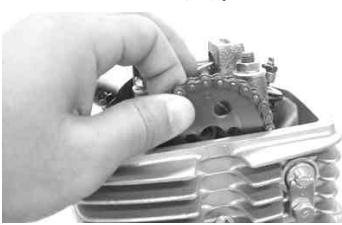
フライホイールを反時計方向にまわし、カムシャフトの両方のカム山が上になる位置にします。



カム山を上にします。



カムスプロケットの“O”マークが真上を向くようにカムチェーンを取り付けます。カムスプロケットをカムシャフトにはめ込みます。

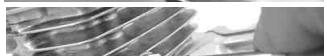


フライホイールを少し回して、カムスプロケットを回し、6角ボルトを取り付けやすくします。

ガタが無く、フライホイールが重くならないところでロックボルトを締め込み、アジャスターを固定します。
規定トルク 10 N・m
(1.0 kgf·m)



アジャスターの調整だけではガタが無くならない場合、シリンダーのアジャストボルトでも調整を行います。アジャスターをガタが一番少ない位置で固定し、シリンダーのロックナットを緩め、アジャストボルトを少しだけ緩めます。



マイナスドライバーでアジャストボルトを固定し、ロックナットを締め付けます。
規定トルク 12 N・m
(1.2 kgf·m)

再びアジャスターを回して、ガタが無く、フライホイールが重くならないところを探し、ロックボルトでアジャスターを固定します。

ナットを締め付け後、0.1 mmのシックネスゲージを再度差し込み、バルブ隙間を確認します。
シリンダーヘッドのオイル溜りにきれいなエンジンオイルをいっぱいまで入れます。



シリンダーヘッドカバーとガスケットを取り付けます。
規定トルク 12 N・m (1.2 kgf·m)

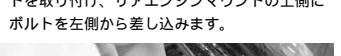
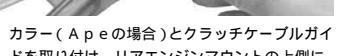


エンジンの取り付け

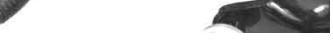
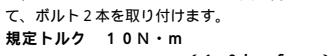
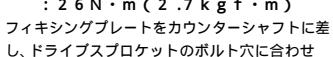
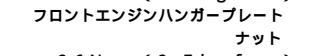
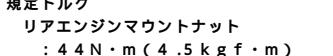
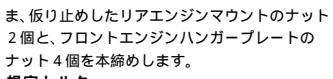
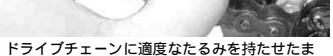
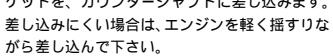
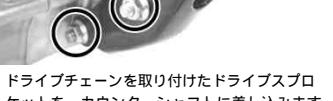
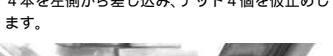
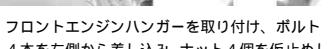
エンジンの取り付け

エンジン下部にジャキや適当な台等を置きエンジンを支え、車体の左側からエンジンを取り付けます。

リアエンジンマウントの下側にボルトを左側から差し込みます。(CB50の場合)右側から差し込みます。

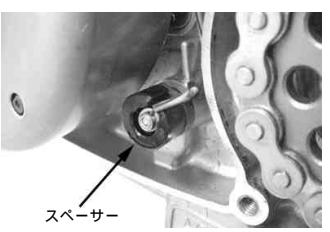


ナット2個を仮止めします。



L. クランクケースカバーの取り付け

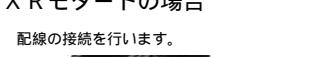
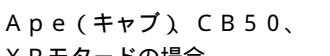
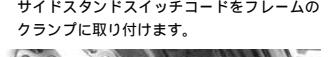
L クランクケースカバーとクランクケースの取り付け面をシンナー等で脱脂します。
スペーサーを取り付け、L クランクケースカバーと新品のガスケットをボルト5本でクランクケースに取り付けます。
規定トルク 12 N・m
(1.2 kgf·m)



L. ステップの取り付け

A p e の場合

L ステップをボルト2本でフレームに取り付けます。
規定トルク 26 N・m
(2.7 kgf·m)



接続

A p e (キャブ) C B 5 0 、 X R モタードの場合

配線の接続を行います。





走行前の注意

お願い

このキットを取り付け、原付免許、原付登録のまま一般公道を走行されると違反となり運転者ご本人が罰せられる対象となります。一般公道を走行される場合は小型2輪以上の免許を取得し、市町村の役所で原付2種の登録を行い、強制賠償保険の排気量アップの申請を行って下さい。

キット内の原付2種マークをお貼り下さい。

使用燃料について

燃料タンクにレギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

スプロケットの変更

このキットを取り付けると出力がアップします。ノーマルのスプロケットのままでローギアすぎて各部の磨耗が激しくなり、エンジン寿命に悪影響を及ぼすだけでなく最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。スプロケットのハイギア化を行って下さい。

A p e / X R 5 0 モタード S ステージ仕様の参考2次減速比は2.5となっております。(体重65kg時)

2次減速比は、“ドリブン(リアタイヤ側)スプロケットの歯数 ÷ ドライブ(エンジン側)スプロケットの歯数”で算出します。

例えば、35丁(ドリブンスプロケット) ÷ 14丁(ノーマルドライブスプロケット) = 2.5(2次減速比)となります。

C B 5 0 S ステージ仕様の参考2次減速比は、約2.9となっております。(体重65kg時)

例えば、35丁(ドリブンスプロケット) ÷ 12丁(ノーマルドライブスプロケット) = 2.9(2次減速比)となります。

その他

オイルクーラー(A p e / X R 5 0 モタード)

このキットを取り付けると出力アップに伴い、エンジン発熱量も増大します。エンジンに長時間の負荷を与える走行には、オイルクーラーキット(09-07-2155:4フィン5オイルライン、09-07-2156:3フィン4オイルライン)の装着をお勧めします。

温度計

このキットのシリンダーサイド部にはスティックタイプの温度センサーが取り付け出来ます。

さらなるパワーアップに、当社製スポーツカムシャフト及びキャブレターキットF Iコントローラーの装着をお勧めします。

・スポーツカムシャフトキット: A p e (キャブ) C B 5 0 、 X R モタード用 0 1 0 8 0 4 0
: A p e (F I) 0 1 0 8 0 1 2 3

・キャブレターキット

P C 2 0 (フィルター付き): 0 3 0 5 3 1 8

P C 2 0 (フィルター無し): 0 3 0 5 3 1 7

・F Iコントローラー

S S t a g e 用 F Iコントローラー: 0 3 0 5 0 0 1 4

株式会社 **SPECIAL PARTS** 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

T E L 0721 25 1357

F A X 0721-24-5059

お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857

U R L <http://www.takegawa.co.jp>